今できること プロジェクト 2013

被災地を担うこどもたちを応援
こども未来応援教室

作家 石井光太氏特別講演

入場無料

参加者募集

とき 3/23(日)

場所 石巻専修大学(森口記念館)
(石巻市南境新水戸1) ※駐車場がございますので、お車でお越しいただけます。

時間 10:00〜11:30
(受付/9:30〜)

被災地で見た人間らしさと光

今できることプロジェクトinこども未来応援教室では、ルポルタージュ作家の石井光太氏(37)が「被災地で見た人間らしさと光」と題して特別講演する。東日本大震災の被災地を取材した作品もある石井氏は、「暗闇の中だからこそ見える人間らしさ、美しい光について伝えたい」と話す。

2011年10月発刊の『遺体―震災、津波の果てに』(新潮社)では、釜石市の遺体安置所の悲惨な光景と、そこに交差し、日々を懸命に生きた人々の姿を綴った。

安置所の「管理人」を務めた男性が、遺体を人間らしく扱ってやりたいと考え、毎朝言葉をかけ、硬直した体をさすってやっていたこと。大切な人を失くした遺族が男性の行為に慰められ、悲しみに耐える力を得たこと。石井氏はこうしたエピソードを通じて、「極限状態にあって初めて、際立って見える人間らしさや光」を描いたという。

東北最大の被災地での講演に際し、「私は被災の当事者ではなく、おこがましいという思いもある」と打ち明ける一方、「取材したということは何かを託されたということ。発信できる立場の人間として、できることを続けたい」と意欲を語った。

講演では、作品に登場した人物のその後や、石井氏との交流について、作品を通じて生まれた新たな絆のエピソードなどにも触れる。

「極限状態にいる人々がどんな光を思い描き、生きているか。貧困国でも被災地でも、その光を見つけて伝えるのが私の仕事。被災した方々の心に傷が残る中、少しでも前を向ける話をしたい。私の話をきっかけに、10年後でも20年後でも、何かを感じ、動く人になってもらえたら嬉しい」

〔石井光太氏プロフィール〕
1977年東京生まれ。2005年、アジア諸国の物乞いや障害者の実態を追った『物乞う仏陀』(文春文庫)でデビューした。以降、国内外の貧困問題や医療問題、社会的事件など幅広いテーマで執筆を続けている。『遺体―震災、津波の果てに』を原作とした映画も作られ、2013年に公開された。震災直後から現地で取材した『津波の墓標』など著書多数。

インフォメーション　石井光太公式ホームページ　http://www.kotaism.com/

『遺体』のDVD、ブルーレイ化

拙著『遺体　震災津波の果てに』を映画化した『遺体　明日への十日間』がDVD、ブルーレイになりました。
原作の単行本もすでに24刷を重ねており、映画ともどもフランスをはじめとした海外でも読まれています。
また、本書の続編である『「遺体」それからの物語』も、電子専用書籍として発売されています。
本に登場する人物のその後の物語をお読みになりたい方は、ぜひ手に取ってみてください。

『ぼくたちは、なぜ学校に行くのか』

日本では、こどもたちは教育を受ける権利をもっている。中学校までは義務教育で、おとなはこどもを学校へ行かせる義務がある。だから、6歳か7歳になると、日本のこどもは学校へ行き、朝から夕方まで、さまざまな科目を勉強する。

ところが、「学校へ行くな。行ったら殺す」
それが、おとなたちがマララ・ユスフザイさんに発したことばだった。それでも勉強することを望んだために、マララさんは、銃で撃たれた。この本は、マララさんの国境での演説をもとに、教育の大切さをこどもとともに考える道しるべとなる一冊。

追加席をご用意しました 〉 参加ご希望の方は、当日会場受付まで直接お越しください

●私たちも、被災地支援のため「今できること」をともに考え、このプロジェクトを推進していきます。

IHI/アヴィエスホーム/アサヒビール 東北統括本部/石巻専修大学/岩手日日新聞社/エイチ・アイ・エス/NEC/NTTデータ東北/キヤノンマーケティングジャパン/キリンビールマーケティング 東北統括本部/ケーズデンキ/サッポロビール 東北本部/サントリービア&スピリッツ 東北支社/JA全農みやぎ/JTB東北/鈴木工業/住友生命 仙台総支社/住友不動産/住友林業 仙台支店/青南商事/セガサミーグループ/セキスイハイム東北/石油連盟/積和不動産東北/第一生命 仙台総合支社/大成ハウジング/大東住宅/タゼン/伝承千年の宿 佐勘/東海東京証券/東北ミサワホーム/東北三菱自動車販売/一般財団法人 日本手芸学会/日本政策金融公庫 仙台支店/日本製紙/日本製紙クレシア/日本生命 仙台支社/野村不動産/はとバス/平松剛法律事務所/ビルワーク/フージャースコーポレーション/富士通エフ・アイ・ピー/富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ/ベルモードスズキ/北洲ハウジング/松島一の坊/三井不動産/三菱地所グループ/宮城県建設業協会/宮城県自動車整備振興会/宮城県遊技業協同組合/みやぎ生活協同組合/明治安田生命 仙台支社/鷹泉閣 岩松旅館/リコージャパン 東北営業本部/河北新報社(順不同)

◎後援/宮城県、仙台市、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、石巻市教育委員会

〔お問い合わせ〕今できることプロジェクト事務局/河北新報社営業部 tel 022-211-1318